

1. 盛岡市中心市街地デザイン戦略とは

(1) 問題意識 – なぜ今「中心市街地」に「デザイン戦略」が必要か？

社会経済が成熟化する一方、人口減少、高齢化等の問題に加え、地域間競争も一層厳しくなります。市民が豊かな暮らしを享受することと、それを次の世代へ継承していくためには、上記のような諸問題に対処しつつ、盛岡の誇る自然環境や歴史・文化を大切に、特色あるまちづくりを進め、北東北及び岩手県の玄関口である本市の県都としての価値をさらに高めていくことが求められます。

本市の中心市街地では「交通の要衝」「商業の中心地」「官公庁街」など、エリア毎に特徴をもったまちが成立してきた反面、現在は下記のような具体的な課題への対応が必要な状況にあります。

- 戦後～高度経済成長期を支えた都市インフラが順次、更新時期を迎えており、中心市街地の一角をなす内丸地区では市庁舎などの再整備が求められている。
- 商店街の商業機能の低下や機能移転などによって生じた空地等に、長期的な視点を持たない土地利用や開発行為が散見される。

このような状況を踏まえ、長期的な展望を持って都市を再編し、次代にふさわしいまちづくりを進めるためには、公共側においては「**全体の方針と民間側の意向や動きを勘案した、選択と集中による合理的な公共投資のあり方**」を、民間側は「**経済活動とその効果を志向しつつも、中心市街地全体と各エリアのあるべき姿・将来像との接点と、公共機能や他事業の存在**」を十分に考慮することが求められます。その上で、お互いの性質の違いを理解するとともに、整合性のあるまちづくりを進めるための方策が必要となります。

こうした認識のもと、行政と民間とが連携し、**まちづくりの将来像と実現のための方策**を示すため、デザイン戦略を策定します。

(2) デザイン戦略とは？

ここで用いている「デザイン」とは道路の舗装パターン、建物の意匠、ストリートファニチャーの形状などのディテール（詳細）だけではなく、都市において、**全体とエリア毎の特徴を活かしたまちづくりを進めるための方策そのもの**を総称します。

「開発に際して市の方針を把握したい」「公共が担うことと民間がなすべきことの間隙や境界を理解したい」「他のエリアとの違いを知った上で地域に則した取組を考えたい」など、目的と手段に応じ、時にアイデア集成として、参考資料として、ベース図として、紐解かれることを想定しています。

(3) 中心市街地デザイン戦略の位置付け

盛岡市の行政運営における最上位計画「**総合計画**」の下、望ましい都市像やまちづくりの目標を明確にし、この目標の実現に向けて、都市計画の諸施策を総合的かつ体系的に展開していくため、市民参加のもとに策定する将来のまちづくりへ向けた基本方針を定めたものが「**都市計画マスタープラン**」です。盛岡市が実施する都市計画（土地利用、道路・公園・下水道等の都市施設整備、市街地開発事業等）は、すべてこのマスタープランに即して実施されることになります。

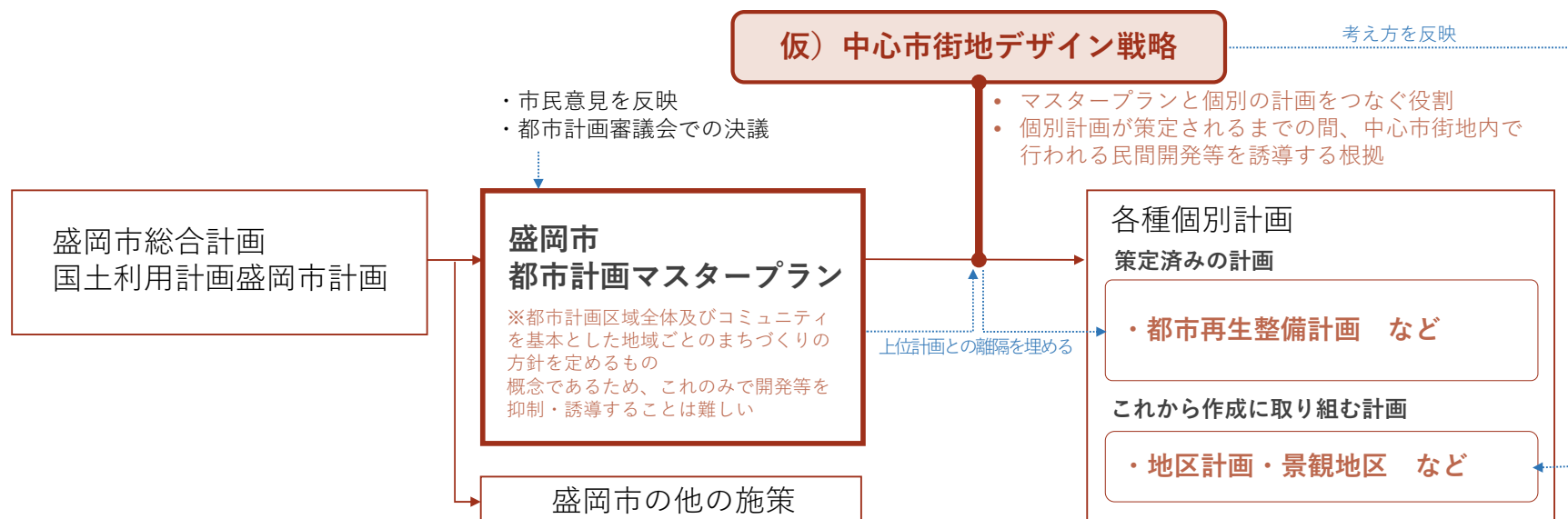
盛岡市都市計画マスタープランの特長

本市の都市計画・まちづくりに関わる各種既定計画を総合する役割を担っています。本計画における“まちづくり”とは、道路や公園などの主にハード面の整備という概念で用いられる“都市整備”に、**市民参加などソフト面の取組も含めた概念**として広義に捉えています。

一方で・・・

多くの場合、行政の計画が規制等の確認以外で紐解かれることは少なく、都市計画マスタープランに関しても同様です。

そこで、中心市街地デザイン戦略は、中心市街地全体の将来ビジョンだけでなく、市民生活において身近な課題に基づく都市整備のイメージを共有するとともに、即応性が求められる問題への対応を取りまとめ、「**生きた計画**」として活用されるものとなることを目指しています。



(4) 中心市街地デザイン戦略の対象区域

デザイン戦略で対象とするのは大きく分けて「**盛岡駅周辺**」「**大通・菜園**」「**内丸**」「**河南**」の4つの区域（エリア）です。

エリアの中でも、まちの形質や民間の組織やその取組によってさらに細分化される状況にあることから、下記の16地区に細分化して、検討を進めます。

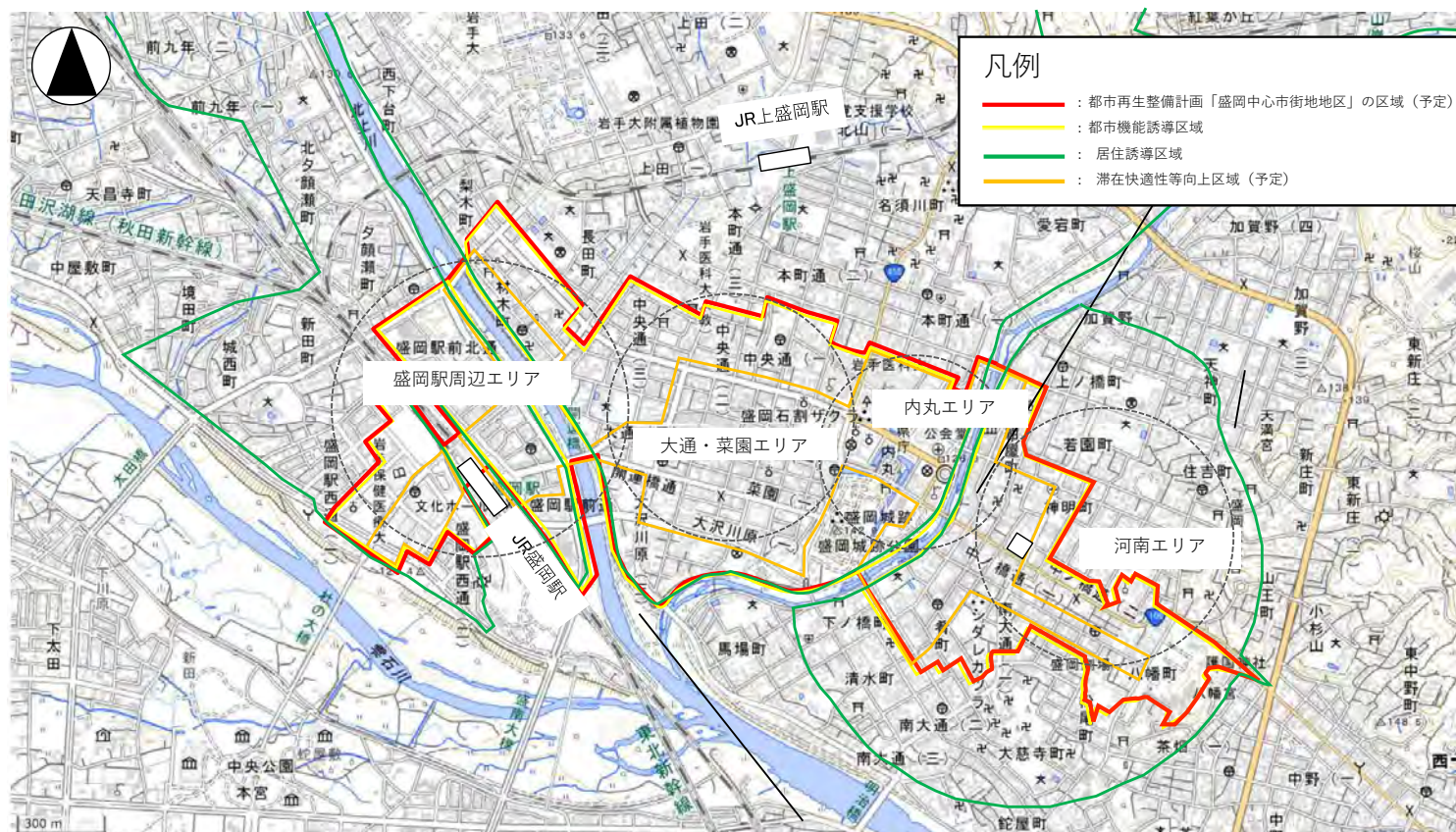
盛岡駅周辺・・・駅前通り、北上川、材木町

大通・菜園・・・開運橋、大通商店街、菜園通り、映画館通り

内丸・・・内丸・中央通り、櫻山・大手先通り

河南・・・紺屋町・葺手町、中津川、肴町、八幡町

中心市街地に隣接し、文化や伝統を育むような民間の取組が活発であるエリアや、中心市街地との連携が考えられるエリアとして、本町通り・寺町、鉈屋町、下ノ橋町・清水町も対象としています。



(5) 中心市街地デザイン戦略の役割

中心市街地デザイン戦略の役割は大きく分けて下記の3つです。

- 上位計画に記された将来像やまちづくりの方針に基づいて策定される各種計画の位置付けを明確にするとともに、詳細計画に落とし込むための素地とすること
- 策定の過程から広く公開し、盛岡市の姿勢を周知・啓発するとともに、まちづくりに関する公民の活発な意見交換の「題材」としても活用すること
- 民間のポテンシャルや開発・更新・運営など、エリアごとの公民連携の可能性にも言及し、官民双方が創意工夫に満ちたまちづくりを推進するための指針として活用されること

(6) 中心市街地デザイン戦略の構成と策定の流れ

中心市街地デザイン戦略の構成及び策定の流れは下記のとおりです。

